

今後行ってほしい企画，講演

- 自動車学校職員のみを集めてこのような講習会をやってもらいたい。
 - 高次脳機能障害者が運転を再開する際の自動車保険に関して、万一人身事故を起こしてしまった場合の保障について。
 - ケーススタディは継続してほしいです。
 - 症例報告をもう少し聞きたい。
 - 障害者のための運転補助装置・購入等に対する補助制度・自動車運転の代替手段の実情・今後の方針・各自動車学校の実情（適性検査等の受け入れ態勢、障害者に対する知識 etc）
 - 自動車学校の先生がリハビリ職に求めることについて講演（患者情報の事前提供など、教習前後に求める事）
 - I-Iに関連して、障害者の事故率が知りたい。
 - 自動車運転中止後のフォローをどう行っているか、制度面を含め（一人暮らし、高齢2人暮らしなど）
 - 症例の中にもありましたが、中年層(?)医療・介護保険でもフォローできず、単身の方の事例で悩んだことがあるので類似した方のお話が聞きたいです。（復職の意欲もそこまで高くない人）
 - 実例の講演を数多く企画していただきたい。
 - 認知症に対しての詳細な運転評価、その事例など。
 - 自動車運転の自動車や行政（市町村や県）での対応などを知れると有難いです。回復期での病院は積極的だが地域の開業医の方はどう思っているのか疑問に思いました。
 - 症例検討・地域との連携やフォローの体制
 - 運転再開後の状況。
 - 特にありませんが様々な方面から発表・意見が頂けるとありがたいです。
 - 自動車学校の指導員が広く参加できるような内容があれば・・・岩城先生がおっしゃられたようにまだ自動車学校によってはこの分野に積極的ではないところが多いと思うので。
 - 研究会の運転再開までのフローチャートを作ってほしい。
脳卒中発症→神経心理学的検査→良好
→不良→自動車学校→良好
→不良
- このようなイメージで作ってもらえると分かりやすい。
- 運転再開に至らなかった症例の検討も取り上げると良いと思います。

当会に対する意見・要望

- 是非次回も参加したいです。
- 研究会の存在を初めて知りました。また長岡で開催していただきたい。
- いろいろな業種の方がいます。特に医者の方の話は専門用語が多く違う業種の人には何を言っているのかわからない点が多々ある。理解しやすい用語で話をしてもらいたい。(初めて受講しました。)今後、当校で自動車運転再開支援講習をする上で午後の部の方が大変参考になった。
- 上越での開催は少し遠いので長岡や新潟市方面などアクセスの良いところの開催を望みます。
- 医療が中心の会でしたが、森田先生の言うとおり今回は内容的に地域のことを把握している行政担当課や地域包括支援センターの参加もあったら(連携のために)良かったと思います。(柏崎は呼びかけて少数参加)包括の対象とする65歳以上だけでなく、若くして発症した人、若年性認知症の人もありますし、60代前半でも車の問題は大きく、市・包括がよくたくさん相談を受けています。車だけでなく、農機械・農耕機、バイク、シニアカー、自転車の問題もあり。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。
- 日頃、机上課題でのリハビリが中心となっているので、実際のシュミレーターを見て体験することができて大変良かったです。また、法制度についての知識を得ることができてよかったです。やはり最終判断は実車教習になると思うので教習所の先生のお話を聞くことができ貴重な体験となりました。
- 特別講演の内容が私には難しかった。内容は興味深かった。内容理解のために各発表の用語一覧があると、それを見ればよいのでわかりやすくなったと思う。
- 免許・運転再開については専門機関でもまだ共通の認識が(基準)ないこともそれが難しいことであることも理解できました。今回の研修に参加したことでどこに相談したらよいか少し理解できました。
- 本日は貴重な講演ありがとうございました。自動車運転は重要な活動なので今後もテーマについて考えていきたいと思えます。
- 本日の研修会では今まで知らなかったこと(運転再開支援講習等)について学べて勉強になりました。
- 今回の研修会の参加申し込みに際して、スマートフォンを持っていないので困りました。ご配慮をお願いします。
- 脳損傷者と認知症者では検査の考え方等が違うように思いました。そのような違いが分かると良いと思います。
- もう少し日程がコンパクト(午後のみとか)になると参加しやすいのでは。コメディカル・学生は参加費の設定を安くしてもよいのでは。
- 他病院での取り組みを知ることができ参考になった。
- 最近学会等に行きますと、運転関連のランチョンとか全て満席に近く、世間の関心がそれだけ高いと感じます。適切な企画をありがとうございました。
- 症例検討では論文の引用等がないものが多く、どこにEBMがあるのかわかりにくかった。看護師として普段セラピストが実施している内容を具体的に知ることができたのはとても参考になった。
- 認知症の方の運転に関して本研究会の立場は？
- 自動車学校によって基準が異なる。

- 自動車学校の方の講演について水原自動車学校の様な考えが広がってほしいと思った。現場に行けないため、自動車学校での評価・フォローが大切だと思った。
- 統一した机上評価と実車評価による判断の結果、可と判断した症例のフォローアップ(事故の有無など)研究をしたらどうでしょう。

多数のご参加いただき大変ありがとうございました。

アンケートも、多数の方からご回答いただきありがとうございました。

今後の研究会の参考にさせていただきます。

障害と自動車運転に関する研究会事務局